

第16回俳句コンテスト入選作品（一般）

賞	作品	区分	氏名	住所区分
天位	大夕焼け明日またねとハイタッチ	兼題	坂本直子	札幌市
地位 (5点)	赤熱の鉄打つ天地の夕焼けて	兼題	竹澤純子	名寄市
	父の馬車大夕焼けを引きてくる	兼題	久保信和	小清水町
	夕焼に国境はなし望郷碑	兼題	矢野知子	洞爺湖町
	石狩の夕焼け血の色無辜の民	兼題	坪田正光	石狩市
	ステイホーム辣非漬に挑戦す	自由題	山本千津子	石狩市
人位 (15点)	放牧の馬の背光る大夕焼	兼題	小玉富士子	石狩市
	オホツクの夕焼け砂はまだ熱い	兼題	静間典子	稚内市
	夕焼は荘内藩の陣屋跡	兼題	中矢真弓	石狩市
	蹴り上げる泥んこの靴大夕焼	兼題	加藤由美子	東京都
	更衣どれも昭和の物ばかり	自由題	星徳男	札幌市
	わだつみのみたまにかうべ沖夕焼	兼題	川元玲子	札幌市
	乙女らのバレエのごとき葡萄狩り	自由題	松本きよし	岩内町
	新港のタンク逆立ち蜃気楼	自由題	菊地勝弘	札幌市
	草萌の牧や見習ひ装蹄師	自由題	猪俣総恵	札幌市
	大夕焼けリードを伝う息遣い	兼題	山根利子	石狩市
	投錨の地碑夕焼けに眉上げて	兼題	石川美智子	石狩市
	影踏みて家路たどる子夕焼雲	兼題	深澤雅子	札幌市
	異郷の地影となるまで浜夕焼	兼題	門前順子	札幌市
	屯田兵たる父祖も眺めし夕焼かな	兼題	寺島きしを	登別市
	砂嘴を根に湾ひとまたぎ虹の脚	自由題	加藤弘美	札幌市
佳作 (20点)	朝市に父好物の独活を買ふ	自由題	桑田陽子	札幌市
	石狩の海を黙らす大夕焼	兼題	葉山彰	福島町
	歌カルタ想ひ届かぬ人と競る	自由題	久保信和	小清水町
	夕焼け真っ赤地球は病んでゐるのかも	兼題	伊藤玉枝	小樽市
	産声の動画届くやつぱくらめ	自由題	菊地みさ子	山形県
	寒夕焼河口を波のさざめきて	兼題	畑中貴子	石狩市
	イヤリング揺れる語り部月涼し	自由題	静間典子	稚内市
	夕焼けに染って帰る鴉かな	兼題	垣見はつ江	十勝清水町
	夕焼や廃船の錆包み込む	兼題	笹森君子	釧路市
	亡き伯父のえがお厚田の夕焼かな	兼題	杉山武志	岩見沢市
	父の日を一人晩酌酔い早し	自由題	渡邊章	東京都
	夕焼けや静かに暮れて一人酌む	兼題	鈴木義久	東京都
	父もきて一家の涵る大夕焼	兼題	松本きよし	岩内町
	手花火や頭五つに下駄二足	自由題	鈴木雄三	石狩市
	夕焼けてベンチにひとり母を待つ	兼題	近藤國法	宮崎県
	大漁旗厚田漁港へ引く夕焼	兼題	猪俣総恵	札幌市
	夏雲や鳥語どこまで付きまとふ	自由題	田中玲子	札幌市
	夕焼けの真っ只中をバスゆけり	兼題	下澤安子	石狩市
	石狩の河口夕焼け押し寄する	兼題	大久保昇	東京都
	亡夫に弾くバラード海へ夕焼けへ	兼題	近藤由香子	札幌市